

# 道総研の研究開発について

研究事業部

令和5年7月27日

## 密林・原野から 日本の食糧基地へ

寒冷地の優良品種を開発

高度な栽培技術を展開

酪農・畜産を牽引



## 三方の海の恵みを 沿海地域の身方に

変わらぬ水域SDGsの追求

つくり育てる漁業の展開

美味しい海の幸を食卓に！



## 北海道の食・ものづくり 産業を支え続け

道内企業と共に数々の商品を

道産原料を用いて新製品を

北海道の食ブランドを演出



# 北海道の振興を使命に

## 森林資源の多面的 な循環利用を

北海道の大自然→森をつくる

木材の品質・加工技術の向上

さらなる多面的利用を！



## 積雪・寒冷地の建築・ 住まい・まちづくり

時代に応じ住まいをデザイン

持続可能な暮らしをつくる

安全安心な暮らしをつくる



## 持続可能な地域社会 の創造を

地域資源を最大限に活用

地質災害から地域を守る

屈指の生態系を守り活かす



# 道総研中期計画

第1期（平成22～26年度）

第2期（平成27～31年度）

第3期（令和2～6年度）

## 大きく変化する社会・自然環境の情勢

- ・ 地域人口の減少・高齢化  
（札幌圏への一極集中）  
→担い手不足
- ・ 気候変動，加速する温暖化  
→一次産業への影響  
→増える自然災害  
→カーボンニュートラル
- ・ アフターコロナ後の働き方・  
人生設計の変化
- ・ 野生生物とのあつれき

## 進展する科学技術

- ・ ICT (IoT, AI) 技術の急進  
→DX・自動化・ロボット化
- ・ 半導体などナノテクノロジー
- ・ ゲノムテクノロジー  
…などなど

## 高まる道総研の技術力

- ・ 膨大な北海道データ
- ・ 多分野融合型組織の強み  
（多角的視点と総合力）
- ・ 数十年先を見据えたチャレンジ

# 第3期中期計画の研究推進項目

※数値は令和4年度の課題数

- (ア) 農業に関すること (229)
  - a 豊かな食生活を支える農業及び食関連産業の振興
  - b 環境と調和した持続的農業の推進
  - c 地域の特色を生かした農業・農村の振興
- (イ) 水産に関すること (94)
  - a 地域を支える漁業の振興
  - b 新たな資源の有効活用と高度利用の推進
  - c 自然との共生を目指した水産業の振興
- (ウ) 森林に関すること (88)
  - a 森林資源の循環利用による林業及び木材産業の健全な発展
  - b 森林の多面的機能の持続的な発揮
- (エ) 産業技術に関すること (76)
  - a 持続可能な地域づくりを支える産業の振興
  - b 成長力を持った力強い食関連産業の振興
- (オ) エネルギー・環境・地質に関すること (100)
  - a 再生可能エネルギーや循環資源などの利活用の推進
  - b 生活・産業基盤を支える環境の保全
  - c 災害の防止及び地質資源の活用
- (カ) 建築・まちづくりに関すること (47)
  - a 暮らし・地域・環境を育む建築・まちづくりの推進
  - b 省エネルギーと再生可能エネルギーの利活用の推進

# 重点的に取り組む研究推進項目

～ 総合力を発揮して取り組む研究の **3本柱** ～

(ア) 高品質・高品位な食料安定供給技術の確立と食関連産業の振興

(イ) 再生可能エネルギーなどの利活用と循環型社会の構築

(ウ) 生活基盤と産業振興に支えられた安全・安心で持続可能な地域社会の実現

## 運営交付金による研究

経常研究、重点研究、戦略研究、  
職員奨励研究、チャレンジプロジェクト

## 外部資金による研究

受託研究、一般共同研究、公募型研究